



## 種まきから収穫まで ぜ～んぶ手作り ～金山小学校でそば打ち体験

■金山小学校児童によるそば打ち体験が11月27日、同校で行われました。この日使われたそば粉は、緑の少年団の活動で児童が種まきから収穫までしたものです。当日は、多くの地域の高齢者の参加もあり、子どもたちのふれあいを楽しんでいました。黒瀬志音くん(6年)は「そばづくりは大変でしたが、食べた人の笑顔が僕たちの喜びです」と話してくれました。



## 100歳おめでとうございます ～渡邊テルさん(木場町)

■渡邊テルさんが11月25日、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。「34年前から日記をつけるのが日課」と言う渡邊さんは、白寿の記念に今までに書いた日記をまとめた『気まま日記』を作っています。その内容は感謝の言葉でいっぱいでした。これからもお元気で長生きしてください。



## 『そまんずし』で心も体もポッカポカ ～高齢者と子どもたちとのふれあい交流(別府校区)

■別府校区で年末の恒例行事となっている高齢者と子どもたちとのふれあい交流そまんずし作りが12月17日、別府地区公民館で行われ、別府小学校児童や別府校区老人クラブ連合会会員など約200人が参加しました。児童は、高齢者にそば打ちなど手ほどきを受けながら懸命に作り、できあがったそまんずしをおいしそうに食べていました。西之原有希くん(5年)は「おいしいそまんずしで心も体もあったまった」と話してくれました。



## 最南端始発・終着駅で思い出残して ～『枕崎駅を想う会』と『花渡川クラブ』が枕崎駅に看板設置

■「本土最南端の始発・終着駅」と書かれた看板が11月26日、枕崎駅に設置されました。これは、『枕崎駅を想う会』と観光ボランティアガイド『花渡川クラブ』の提案で、南薩地域森林・林業振興協議会の協力により制作したものです。枕崎駅を想う会の積山ユミ子会長は「最南端の始発・終着駅での思い出を写真に残してもらいたい。また、稚内から枕崎まで鉄路が繋がっているということも感じてほしい」と話していました。



## 「昔のきれいな川に」100人で大清掃 ～『清流を取り戻す会』牧園川清掃作業

■『清流を取り戻す会』(酒匂明彦会長)主催による馬追川支流の牧園川清掃作業が12月17日に行われ、同会の呼びかけに賛同した地元住民や立神保育園の学童など100人超が参加しました。同会は「昔のように子どもたちが川遊びできる、明るい声の聞こえるきれいな川を取り戻そう」を合言葉に7月に発足した団体で、県と『みんなの水辺サポート事業』の協定を取り交わし活動しています。参加者は2時間かけて土手の草刈りや川底に堆積したゴミ除去などを行い、一帯は見通しがよくなり、みちがえるほどきれいになりました。酒匂会長は「多くの人に参加していただき感謝でいっぱい。これはまだスタート。継続して取り組んでいきたい」と話していました。



## 寄ってみよう! まちなか美術館 ～にぎわいサロン枕崎が駅通りにオープン

■NPO法人たすけあい枕崎が運営するまちなか美術館『にぎわいサロン枕崎』が11月から駅通りにオープンしています。サロン内には絵画や写真、陶器など市民の力作が多数展示されています。スタッフの松野下富士郎さんは「気軽に寄れるにぎわいの場所を目指しています。出展者を常時募集していますので、いつでも声をかけてください」と話していました。

1月15日(日)～30日(月)には公募展『わたしの好きな枕崎展』を開催します(詳細は『広報まくらざき12月号』15頁)。また、サロン内には喫茶スペースもあり、買い物帰りなどに寄ってみてはいかがでしょうか。◎にぎわいサロン枕崎(午前9時～午後7時) TEL72-8448



## おいしい! 『水高マグロ』に舌鼓 ～薩摩青雲丸が帰港 マグロ解体ショー&試食会

■鹿児島水産高校の実習船『薩摩青雲丸』が11月28日、ハワイ沖でのマグロはえ縄漁などの実習を終え枕崎漁港に帰港し、マグロ27.7トンを水揚げしました。同校では「もっと水高マグロに親しんでもらおう」と港で今回初めてマグロ解体ショーと試食会を開催しました。使用したのは実習で釣り上げた約40%のメバチマグロ。たくさんの市民や園児が詰めかける中、生徒が豪快にさばく姿に歓声が上がっていました。試食した人々からは、その濃厚な味わいに笑顔がこぼれていました。



## 近畿枕崎会総会 盛大に開催 ～投稿者 近畿枕崎会 宮路俊雄 会長

投稿

■第29回近畿枕崎会総会が11月27日、大阪道頓堀ホテルで盛大に開催されました。当日は来賓として、ふるさと枕崎から地頭所副市長、新屋敷市議会副議長、大茂商工会議所会頭をはじめ、他の県人会、各種団体からのご列席をいただき、盛大な会となりました。特別講演では、今から257年前、当時幕府の命によって薩摩藩が行った岐阜の治水工事の工事責任者で薩摩藩総奉行、平田勲(ゆきえ)の9代末裔平田勲(ゆきえ)氏が手作り紙芝居で当時の様子を再現、先人の偉業に心打られました。第2部はカラオケ、「ちゃんサネ」さんの余興などがあり、最後は枕崎の企業、団体提供の地元名産品の当たる大抽選会があり、参加者も大変喜んでいました。来年は記念すべき30回を迎えます。今後も、近畿枕崎会がふるさと枕崎とのパイプ役として継続、発展できるよう、役員、会員共々協力して参りたいと思っています。

今月のラブ枕崎愛人さん  
枕崎愛マークステッカーを携帯  
電話や身近なものに貼って  
枕崎愛をケータイして  
いる人を紹介する  
コーナー  
です



鹿児島水産高校教職員のみなさん

We LOVE MAKURAZAKI ©投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp